

第三者災防止呼掛け

ガス管理施設本復旧現場 で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は7日、施設工事支店神奈川営業所が横浜市緑区中山地内で施工するガス管理施設本復旧工事の現場で安全パトロールを実施した。写真。本社からは石井社長や堂尻伸二安全環境部長、施設工事支店からは鎌田修治支店長や志々目耕一工事部長、大石光洋安全環境部長、市川太通神奈川営業所長が参加。片側交互通行の狭い施工エリア内で作業に当たる現場の様子を見て回った。施設工事支店は、東京ガス



発注の工事を専門に手がけている。パトロールは建設業年末年始労働災害防止強調期間と12月から3月にかけてのガスの最大需要期に合わせた取り組みで、経営トップの強力なリーダーシップの下で関係者が一丸となって現場の自主的な安全衛生管理活動をより一層推進し、安全な職場環境を形成することを目的として

いる。

石井社長らは、重機と人との分離状況や架空線近接作業、重機旋回時の重機オペレーターと誘導員との合図確認状況、歩行者通路の確保と歩行者誘導状況、交通整理員配置状況、規制帯設置状況などを重点的に点検確認した。

パトロール後、石井社長は「架空線や隣接する建物が多い条件の中、大型重機を使用しているため公衆災害防止対策が重要だ。バックホウ旋回時もガードマンがしっかり誘導しており、センサーによる緊急時の合図体制も確認できた。狭い作業帯の中で重機と作業員の接触防止対策をとるとともに、歩行者や自転車の通行にも配慮して第三者災害を防止してほしい」と呼び掛けた。

